

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年5月10日

事業所名 さんSUNアフタースクール泉大津

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	基準以上の広さを確保しています。（約80平米）	十分な広さはありませんが、室内に柱があるので安全・快適に過ごせるように配慮します。
	2	職員の配置数は適切である	83%	0%		常勤：保育士2名・児童指導員1名 非常勤：保育士1名・指導員1名で対応していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	100%	フロアに段差はありません。	建物の2階にある為、階段には左右に手すりがありますが出来る限り職員が同行しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	83%	0%	職員面談を実施し業務の改善に取り組んでいきます。	継続していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		保護者等向け評価の結果を踏まえて職員間で話し合い改善していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	集計結果を保護者様に配布しています。	HPで公表中です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		現在は利用者様と社内の評価のみですが必要に応じて検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	入社時以外にも内部や外部の研修に参加しています。	今後も内部・外部研修ともに積極的に参加していきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	2ヶ月毎にモニタリングを行い、目標達成度・現在の課題等を共有しています。	必要に応じて計画書の見直しをしています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	67%	0%		発達検査の結果を頂き発達状況を把握して支援に繋げていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	83%	0%	年間計画に基づき職員会議で話し合い日々の活動や行事・プログラムを決めています。	みんなが発言しやすい会議を目指したいと思います。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	83%	0%	定期的に行う課題の他、季節の行事等プログラムを決めています。	良い意味での固定化とマンネリ化しないように取り組んでいきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	67%	0%	休日や長期休暇は、支援時間を長く確保できる為、公共施設・商業施設の利用などの体験活動で社会性を育む活動を行っています。	コロナ過で外出も難しい状態だったので今後は、様々な経験を出来るよう活動していきたいと思っています。

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	83%	0%	個別課題と集団活動時の課題の両方の視点から組み合わせています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83%	0%	毎朝、ミーティングを行い前日の振り返り・当日の支援内容・役割等を確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	67%	0%	出来る限り振り返りをしますが、個々に気付いた事を業務日誌・職員間の連絡ノートにも書き込んで共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	50%	0%		子ども達の様子や変化等、気付いた事を記録・共有して改善に繋げていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	83%	0%	2ヶ月毎にモニタリングを作成して現在の課題等がある場合等 必要に応じて計画書の見直しをしています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	83%	0%	ガイドラインを意識して実施しています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	50%	0%	以前は、児発管のみが参加していましたが、児発管と児童指導員で参加するようにしています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	50%	0%		支援学級の先生と連携・情報共有が上手くいかない場合があるので、しっかりと連携出来るようにしていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	83%		現在、医療的ケアが必要なご利用者様が居ないが必要時は、積極的に連携していきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	17%		必要に応じて就学前の情報を取得して支援計画書の作成に役立てていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	17%		これまで例がありませんが、必要時には情報提供をスムーズに移行が行えるよう情報共有していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%	専門機関が開催する研修等は、積極的に参加し職員のスキルアップに努めています。	未就学児の受け入れがないので、現在児童発達支援センターとの連携は、ありませんが必要時には、連携していきたいです。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	83%		地域の小学校に通うお子様が殆どなので、今後、必要に応じて検討していきます。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	0%	0%		自立支援協議会への参加していませんが、放課後等デイサービス泉大津連絡会で情報共有・様々な研修等に参加しています。

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	83%	0%	送迎時もお話しさせていただきますが連絡ノートやInstagram・Facebookでも配信しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	60%	40%		具体的なペアレントトレーニングは、行っていませんが、支援の中で気付いた事を共有したり保護者様の困り事に寄り添いアドバイス等出来るようにスキルを高めていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		契約時に説明していますが質問等があれば随時お話しさせていただきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	67%	0%		どの職員も助言までは出来なくても、傾聴し共感出来るように寄り添える対応を目指したいです。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	33%		交流会を開催してましたが参加率が低いのとアンケートで必要ないという回答が多く今後開催するか検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	83%	0%	普段から苦情になる前に話せる関係作りを心掛けています。	保護者様と直接お話しを伺い迅速に対応していきたいと思えます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	83%	0%		お便りの他、毎日InstagramやFacebookでも様子を配信しています。
	35	個人情報に十分注意している	83%	0%		個人情報の保持に努めて参ります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	83%	0%		資格支援や身振り手振り・簡単なマカトンサイン50音表等を個々に合わせた伝達方法で伝えています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	83%		実施できていませんので今後、検討していきたいと思えます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	50%	0%		各種マニュアルの策定しています。作成中の物も、職員間で周知の徹底・保護者様の周知が十分とは言えないので今後、周知する機会を設けたいと思えます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	83%	0%		消防署にご協力頂き年に一度消火訓練を行っていたがコロナ過で出来ませんでした。防災センターで地震体験や事業所での避難経路の確認等を不定期で行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	83%	0%		虐待防止マニュアル作成、虐待防止の内部研修等を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	67%	0%		やむを得ず拘束を行わなければならない時は、保護者様に承諾を得て計画書にも記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	33%	17%		医師の指示が必要なアレルギーの方は、現在いませんがアレルギーのある利用児は、一覧にして事務所にいつでも確認できるよう掲示しています。

	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	67%	0%		事例があった場合、ミーティングで共有、再発防止・事故防止に努めていきます。	
--	----	---------------------------	-----	----	--	---------------------------------------	--